

# 令和6年能登半島地震における 被災地支援の概要

～静岡県の穴水町災害対策本部の運営支援を中心に～



静岡県 危機管理部

危機情報課長 若林克茂

(前 危機政策課危機専門官)

新被害想定担当室長 板坂孝司

(前 東部地域局技監兼危機管理課長)

危機情報課課長代理 杉山徹

# 本日は、リレー形式で説明します。

## 1 穴水町支援の概要…若林

## 2 現地における支援の状況

- ・発災直後…板坂

- ・発災から約2週間後…杉山



# まず、「穴水町支援の概要」を説明します。



穴水湾

(出典：穴水町ホームページ ミニ写真集)

## <講師>

静岡県 危機管理部

危機情報課長 若林 克茂

(前 危機政策課危機専門官)

# 総務省応急職員派遣制度①

- 被災都道府県内の地方公共団体による応援職員の派遣だけでは、被災市区町村において完結して災害対応業務を実施できない規模の災害が発生した場合に、被災都道府県以外の地方公共団体から応援職員を派遣する制度（平成30年から運用開始）
- 総務省や全国知事会などから構成される 応援職員確保調整本部において、応援する都道府県又は政令市ごと被災市区町村を割当（基本は、1つの被災市区町村を担当）
- 総括支援と対口（たいこう）支援がある。

# 総務省応急職員派遣制度②

## <総括支援>

- 被災市区町村の長の指揮の下で、被災市区町村が行う災害マネジメントの支援などを行うこと
- 応援する都道府県・政令市は、「総括支援チーム」を派遣  
※都道府県は、自らの市区町村と連携
- 総括支援チームの主な役割は、次のとおり
  - ◇被災市区町村の被害状況や応援職員のニーズ把握など、対口支援に先立つ「先遣隊」としての役割
  - ◇被災市区町村の長への助言、幹部職員との調整など、被災市区町村の災害マネジメントを支援する役割

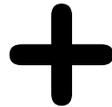
# 総務省応急職員派遣制度③

## <総括支援チーム>

- 災害マネジメント総括支援員 と 災害マネジメント支援員など数名で構成するチーム

【例】

リーダー



罹災証明交付の調整



避難所運営の調整



関係機関との連絡



災害マネジメント総括支援員(管理職)

災害マネジメント支援員

# 総務省応急職員派遣制度④

## <対口支援>

- 避難所の運営、罹災証明書の交付等の**災害対応業務を支援**すること
- 応援する都道府県・政令市は、「**対口支援チーム**」を派遣  
※都道府県は、自らの市区町村と連携

【例】 住家被害認定調査チーム  
罹災証明書交付チーム  
避難所運営チーム

穴水町の対口支援のため、JR金沢駅に集合した  
静岡県住家被害認定調査チーム(県職員・市町職員)  
令和6年1月9日撮影



# 静岡県への支援先の決定

- 令和6年1月1日16時10分、令和6年能登半島地震発生
- 1月2日夕、全国知事会中部ブロック幹事県（三重県）経由で、  
応援職員確保調整本部から電話連絡  
[要旨] 静岡県が石川県穴水町を総括支援するよう要請
- 1月3日日中、応援職員確保調整本部から電話連絡  
[要旨] 静岡県が石川県穴水町を対口支援するよう要請  
※対口支援 1月5日に栃木県及び奈良県、2月7日に福岡県の追加が決定された。

# 穴水町の概要

## 1 穴水町の位置



## 2 穴水町全図



## 3 市街地全景



## 4 穴水町の概要

○位置  
石川県、能登半島のほぼ中央

○人口  
7,890人  
(令和2年国勢調査)

<参考>  
南伊豆町 7,877人  
(令和2年国勢調査)

○面積  
約183平方km

<参考>  
沼津市 約187平方km

○主な産業  
農林水産業  
(牡蠣、ナマコ、メバル、黒鯛、栗など)

○交通  
道路：のと里山海道、国道249号  
鉄道：のと里山鉄道

# 被災地支援の状況(石川県)

※総括支援団体が対口支援団体を総括

被災市町	総括支援団体	対口支援団体(団体数)
志賀町	愛知県	愛知県、神奈川県、横浜市、鳥取県、岡山市、佐賀県(6)
七尾市	名古屋市	名古屋市、さいたま市、京都府、京都市、埼玉県(5)
輪島市	三重県	三重県、東京都、川崎市、大阪府、大阪市、堺市、徳島県、北海道、長野県、静岡市、岐阜県、愛媛県、広島県、山口県、高知県、熊本県、北九州市、福岡市、宮崎県、鹿児島県(20)
穴水町	静岡県	静岡県、奈良県、栃木県、福岡県(4)
珠洲市	浜松市	浜松市、福井県、千葉県、千葉市、兵庫県、神戸市、山梨県、熊本市、長崎県、大分県(10)
能登町	滋賀県	滋賀県、和歌山県、茨城県、宮城県、岩手県(5)
加賀市	—	静岡市(1)
羽咋市	—	長野県(1)
中能登町	—	岐阜県(1)
津幡町	—	相模原市(1)
かほく市	—	群馬県(1)
宝達志水町	—	札幌市(1)
内灘町	—	仙台市、香川県(2)
金沢市	—	仙台市、島根県(2)

## 被災地支援の状況(富山県)

被災市町	総括支援団体	対口支援団体(団体数)
氷見市	—	福島県、岡山県(2)
高岡市	—	広島市(1)
射水市	—	青森県(1)

## 被災地支援の状況(新潟県)

被災市町	総括支援団体	対口支援団体(団体数)
新潟市	—	山形県、秋田県(2)

# 穴水町支援の推移①

<1月上旬>

ポイント 地震発生、総括支援チームを派遣、住家被害認定調査の支援を開始

月日	主なできごと
1月1日(月)	令和6年能登半島地震発生 [16:10]
1月2日(火)	応援職員確保調整本部から、穴水町の総括支援の要請
1月3日(水)	総括支援チーム(第1陣)を派遣(~10日(水)) ・県庁を出発[09:30]→穴水町役場に到着[20:40]
	応援職員確保調整本部から、穴水町の対口支援の要請
1月4日(木)	総括支援チームから県庁あて、対口支援について連絡 【内容】住家被害認定調査チームの派遣依頼
1月5日(金)	穴水町の対口支援団体の追加決定(栃木県、奈良県)
1月6日(土)	住家被害認定調査チーム(先遣隊)を派遣
1月9日(火)	住家被害認定調査チーム(第1陣)を派遣 (栃木県、奈良県と連携)

板坂が総括支援員  
(リーダー)

# 穴水町支援の推移②

## 現地の活動（例）

住家被害認定調査の実施に先立ち、関係者と打合せをする**総括支援チーム**及び**住家被害認定調査チーム（先遣隊）**



令和6年1月7日（日）

写真手前～左：穴水町職員  
写真右：栃木県職員（連絡調整員）

# 穴水町支援の推移③

<1月中旬～>

ポイント 罹災証明書交付の支援 及び 避難所運営の支援を開始

月日	主なできごと
1月12日(金)	総括支援チームから県庁あて、対口支援について連絡 【内容】罹災証明書交付チームの派遣依頼
1月15日(月)	総括支援チームから県庁あて、対口支援について連絡 【内容】避難所運営チームの派遣依頼
1月16日(火)	総括支援チーム(第4陣)を派遣(~21日(日)) ← 杉山が支援員
1月19日(金)	避難所運営チーム(第1陣)を派遣(24時間配置)(栃木県、奈良県と連携) 避難所運営チームをマネジメントする職員を派遣
1月21日(日)	罹災証明書交付チーム(第1陣)を派遣(栃木県、奈良県と連携)

- ・以降、総括支援及び対口支援を継続
- ・住家被害認定調査を更に推進するため、2月7日に福岡県の追加が決定
- ・業務が進捗し、3月下旬から派遣者を逡減



# 穴水町支援の推移⑤

## 避難所の状況

(講師撮影 令和6年2月25日(日))



←避難者向けの食料、日用品等(林業センター)

↓避難所の外側階段(地震による影響)  
(林業センター)



↓不織布製避難所用立体間仕切り  
(文化センター)



# 穴水町支援の推移⑥

対口支援ピーク時の状況(1日当たり)

(単位 人)

	静岡県	栃木県	奈良県	福岡県	合計
住家被害認定調査	10	10	10	15	45
罹災証明交付	3	3	2	—	8
避難所運営	12	6	6	—	24
トイレトラック等	9	—	—	—	9
応急仮設申請受付	—	—	4	—	4
生活再建支援申請受付	—	—	—	8	8
合計	34	19	22	23	1798

# 穴水町支援の推移⑦

- 支援業務が順調に進捗。避難者数も減少したことなどから、穴水町の申し出を踏まえ、**5月6日(月)**をもって、**総括支援及び対口支援を終了**
- 支援日数 **125日間** (1月3日(水)～5月6日(月))
- 派遣者数 **延べ約3,400人**  
(総務省応急職員派遣制度に基づき派遣した、静岡県職員及び県内市町職員の派遣者数)

# 穴水町支援の特徴



## 1 地理

- 静岡県から遠隔（アクセスに時間を要する）
- 被災により、穴水町に進出できる道路が限定
- その道路に様々な支援団体等の車両が集中

## 2 気象

- 降雪時期

## 3 支援先自治体の規模

- 穴水町が小規模な自治体であり、職員が少数  
= 支援県が業務全体を担う必要

## 4 支援期間

- 被災規模上、支援が長期（125日間）に及び

御清聴ありがとうございました。  
被災地の復旧・復興を心からお祈りします。

講師を板坂にバトンタッチします。